



# 丹生ヶ丘

PTAだより

福井県立丹生高等学校  
PTA広報委員会  
令和3年3月2日発行

第86号

Annual School Festival

## 丹生高校学校祭

(2020/9/2・3・4)

本年度テーマ

# PLUS ULTRA!!

各色の  
パフォーマンス



各色のテーマとカラーの旗



綱引きも  
ソーシャルディスタンス



大旗リレー



体育館で表彰式 総合優勝は黄色でした



黄デコレーション

赤デコレーション



青デコレーション

本年度の学校祭は、1日目のセラミックホールでの文化祭を皮切りに、3日間の日程を無事挙行することが出来ました。初日、2日目は、文化部を中心に生徒さんの日頃の課外活動の成果が展示・発表されました。ご来賓や保護者が参加出来ないという例年にない形ではありましたが、大いに盛り上がり楽しむことが出来ました。また招待講演では、気鋭のラップ・アーティスト「さなり / SANARI」さんを、丹生高校文化祭史上初となるZoomを用いたリモートライブ・ゲストとして招き、生徒たちは相互通信も楽しみました。3日目の体育祭は午前中だけのプログラムでしたが、華麗で迫力ある色別パフォーマンスで幕が開き、様々な競技に若い汗を輝かせていました。



PTA 会長挨拶

PTA 会長 向富淳



春の暖かさを感じる季節となりました。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。

「卒業を迎えられる生徒をお持ちのご家庭の皆様におかれましては、3年間の高校生活を終えられ、晴れの門出を迎えられた事に心より御祝いを申し上げます。

また、校長先生をはじめ、教職員の皆様には、新型コロナウイルス感染症の下での迅速な対応、授業や、部活動に課外にと昼夜、土曜日曜を問わずご指導をいただき、子供達の成長にご尽力をいただいた事にPTAを代表いたしました心より感謝いたします。誠にありがとうございます。

そして、卒業生の皆様は、進学なさる方、就職なさる方、新しい人生をスタートされると思っています。

大きな目標を持って、自分の進むべき道に歩を進めて行く事と思えます。

あきらめないでください。そして何故と疑問に感じ多面的に問題を考えて見てください。

簡単に考えて、問題から逃げて、結果として楽にはならない。反対に良く考えて問題にあたっていく方がはるかに楽で素晴らしい結果になっていきます。

どうか、何事にもチャレンジをして沢山何故と考え、答えを見つけ、人生を素晴らしいものにしていくてください。

今年度、PTA会長を仰せつかってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で予定の活動の半分も出来ておりませんが、会員の皆様、校長先生をはじめとした教職員の皆様、そして地域の皆様のご協力とご理解をいただき、地域に必要とされる丹生高校を考える時間の皆様と共有出来た事は私にとつても大きな経験となりました。

最後になりますが、本校PTAの活動に対して多大なるお力添えを頂きました皆様にご感謝を申し上げます。丹生高校の益々の発展繁栄と、PTAの皆様、そして在校生、卒業生の益々の活躍を祈念いたしまして、私からのお礼の言葉とさせていただきます。

本当にありがとうございました。



学校長挨拶

「もうひとつの式辞」

校長 藤井克郎



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本来、高校生活3年間の間に、卒業式の式辞は3回聞くことになりました。コロナ禍のため、昨年の卒業式も今回と同様、在校生の参加はありませんでした。個人的に、昨年度の式辞もぜひ触れていただきたく、この紙面をもつて内容の一部を紹介しておきたいと思えます。

\*\*\*\*\*

皆さんは「恩送り」という言葉をご存知でしょうか。

私たちは、誰からかの厚意や恩を受けて、深く感謝の思いを持つと、その人のために直接何か役に立ちたい、「恩返し」をしたいという気持ちになります。しかし、「恩返し」したい相手がいないかつたり、誰かわからない場合には、代わりに、ほかの似たような人のために、または、社会のために役に立ちたいと思うようになります。そして、その思いで起こる行いを「恩送り」といいます。現実社会において「恩送り」の例は数多く存在します。東日本震災や各地域の豪雨災害では、各方面から多く

のボランティアが被災地に集まりました。過去に被災し支援を受けた人たちが、新たに支援を行うことで「被災地のリレー」と呼ばれる現象が起こっています。

アフガニスタンで亡くなった医師、中村哲さんの活動についてはご存知の人もいないのではないのでしょうか。パキスタンやアフガニスタンで苦しむ現地の人たちを救うため、医師でありながら、農業土木を一手から勉強し、千六百余りの井戸を掘り、それでも効果が少ないと見やるやさらに、2000haの砂漠化した土地に水路を作り、農地としてよみがえらせました。中村さんに深く感謝している現地の人の中に、新しい「恩送り」の動きがすでに始まっています。

このように、「感謝の気持ちをもつこと」は、発展的な考え方や行動につながる重要なステップとなります。

\*\*\*\*\*

あれから1年たちますが、卒業生の皆さんには、感謝の心を忘れず、故郷や後輩たちのために、培ってきた能力を発揮していただきたいと願ひは今も変わっていません。今後は、本校同窓生として、そして保護者や地域社会の一員として、活躍していただけることを期待しています。

また、保護者の皆様には、心からお祝いを申し上げますとともに、これまで本校に寄せられまして、ご厚情とご支援に対し厚く御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。



PTA だよりが  
変わりました

PTA 副会長(広報委員会)

水田敏郎

本校のPTAだより『丹生ケ丘』は、今回で八十六号を数えました。これまで、長年にわたり、学校での生徒の様子や先生方の取り組みはもとより、様々なPTA活動をご紹介してまいりました。近年は、年に2回づつ発行された紙媒体に印刷したものを保護者の皆様にお配りしてまいりました。

このように、従来は紙の印刷物としてお届けしてきた『丹生ケ丘』ですが、近年は、本校のホームページ情報が充実し、なおかつインターネット端末が広く社会や家庭に普及したことから、昨年度のPTA実行委員会より、本年度の『丹生ケ丘』より、本校ホームページからネット配信する旨の決定がなされました。なおかつ、高校ホームページからの情報発信の強化にあわせて年一回の発行という形に変わります。現在のところ、当面は広く社会で使われているPDF形式のファイルでの配信を予定しております。慣れない誌面編集で、読みにくさ覚えられながらも補いさせていただきます。充実で補いたいと考えられます。新しく生まれ変わった『NEW丹生ケ丘』も引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。







# 今年度のおもなPTA活動



今年度のPTA活動は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当初の予定を大幅に変更せざるをえませんでした。そこで、本年度行うことができた活動に加えて、今年は実施ができませんでしたが、例年行われている取り組みのご紹介もさせていただきます。

## ● 朝の生徒玄関で



本年は多くの学校行事やPTA事が中止や変更になりました。学校祭に来校し、生徒の活動を見る事もできませんでした。6月の「交通安全指導」、10月の「親子ボランティア」も中止でした。少しでも生徒の様子を知っていた

く機会になればと、生徒玄関で「朝の登校見守り」の計画が出てきました。当日の朝、最初は一人二人と生徒が登校して来ます。鯖江や越前町からのバスの到着時間には、集団で登校してきます。生徒玄関で「おはよう」「おはようございます」の挨拶が交わされました。保護者の方々が来校し生徒の様子を知っていただくことは、教育環境の整備が進んでいく力になると信じています。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

## ● 交通安全指導に参加して PTA副会長 牛若博文



コロナ禍で学校生活・PTA活動等が制限された年でしたが、11月に交通安全指導を実施出来ました。ファミリーマート前の交差点に立ち、交通ルールを守り安全に通学出来ているか見守りつつ、登校する生徒に「おはようございます」と声を掛けました。元気に挨拶を返してくる生徒や少し眠そうにしている生徒等さまざまでしたが、通学の様子を間近で見る良い機会になりました。この機会を通じて歩行者としてだけではなく、運転者としても交通安全に注意していかなければと感じました。卒業を迎える人の中には車や原付の免許を取得しハンドルを握る機会が出てくる方もいます。交通事故の被害者・加害者にならないように交通ルールを守って、新生活を送りますように願っています。

## ● 親子ボランティアのご紹介 PTA副会長 小山俊明



例年、実施しておりました親子ボランティア活動は、今年、コロナ禍の影響を受け中止となりました。例年は、「e-と今朝日」をはじめとする他団体と協力し、10月に実施しておりました。近くの社会福祉施設「光道園」や、道の駅

「パークイン丹生ヶ丘」、古墳公園等で清掃活動をしてきました。同窓会館「丹生ヶ丘会館」や校内で活動する年もありました。平成30年、福井国体の年には、9月にホッケー会場周辺の清掃も行いました。部活動単位での参加もあります。生徒にとっては地域の方々や異なる世代の方々とのふれあう貴重な機会となっています。また、地域社会の方々から丹生高生のことを知っていただく良い機会でもあります。来年、再来年と引き継いでほしいと思います。

## ● キャリアガイダンス研修会に参加して

教頭 渡邊進午

9月11日(土)の福井県高等学校PTA連合会キャリアガイダンス研修会において「時代は変わる～地方創生に大切なこと～」と題して、福井新聞社特別論説委員の山下裕己氏が講演され、様々なデータや出来事を引用して時代の流れを示していただきました。現在コロナ禍の中で、新しい日常(ニューノーマル)が求められています。そこで日本がどのような状態にあるのかキーワードを示しながら分かりやすく説明していただきました。その中で「木を見る西洋人、森を見る東洋人」というキーワードを取り上げられました。「個」をみる西洋人と「集団」をみる日本人の価値観の違いが分かり、「人同士の関係性や絆を大事にしていこうとする地域コミュニティという考え方」に立ち戻ることが大事であり今後の生き方のヒントを得ることができました。先を見通せない現在ではありますが、今後難しいこの世の中を乗り越えていこうと感じる講演会でした。

## Report of Research conference 福井県高P連研究大会の報告

PTA副会長 水田敏郎

11月に、令和2年度福井県PTA連合会の研究大会が、福井市のAOSSA 8階県民ホールで開催されました。実践発表では、高志高等学校・中学校と敦賀高等学校PTAが、それぞれPTA活動としての「進路についての意見交換会」の取り組みと、「コロナ禍でのPTA(活動)のあり方」について報告されました。また、『一緒に遊ぶ。～共創する非線形の未来』と題して、若新雄純氏(慶應義塾大学特任准教授、株式会社NEWYOUTH代表取締役)が、鯖江市JK課創設時のエピソードや、ご自身の高校生・大学生時代の経験などから、若者(特に高校生)との信頼関係を作るうえで周りで見守る大人がもつべき距離感、適度な自由さと対話の重要性について語られました。



## Report of Commendation 福井県高P連会長表彰の報告

6月に、令和2年度福井県PTA連合会の年次総会が紙面で開催されました。前会長の高松恒雄様、同じく前(現)副会長の牛若博文様の2名が福井県高等学校PTA連合会長表彰を受けました。高松様は、丹生高PTAで先頭に立ち活動され、北信越地区高P連研究大会福井大会の実行委員を務められました。コロナ禍により中止になりましたが、ご協力を予定くださいました会員の皆様、ありがとうございます。牛若様は、広報活動、通学路での交通安全指導にご尽力下さいました。学校行事では、お2人とも本校PTA活動の中心となり、2年前の福井国体開催時にもご協力下さいました。本当にありがとうございました。



前PTA会長  
高松恒雄氏

前(現)PTA副会長  
牛若博文氏



# 進路指導部より

## ◆進学入試状況

国公立大学に関しては、全国的に地元志向が高まっています。私立大学は近年難化している大学が多く、特に一般入試では合格しにくい状況になっていきます。専門学校は例年より少なくなっていますが、看護系を中心に合格しています。

国公立大学は、福井大学に二名、福井県立大学に二名、公立小松大学に合格、私立大学は、福井工業大学、仁愛大学、福井医療大学、金沢学院大学、金沢星稜大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学、天理大学、朝日大学、岐阜聖徳学園大学、東海学院大学、中京大学、日本大学、明治学院大学、東京国際大学、東京農業大学、明治大学などに合格しました。短期大学は、仁愛女子短期大学に合格しました。各種学校は、海上保安学校、福井県立看護専門学校など二十四名が合格しました。

## ◆就職内定状況

就職に関してはコロナ禍の影響を心配していましたが、職種によって求人が減らした企業があったものの、例年並みの内定をいただくことができました。就職は景気によって大きく左右されるため、来年度に関しては不透明な状況にあります。

主な就職先は、福井村田製作所、鯖江村田製作所、信越化学工業、アレイシオン・エイ・ダブリュ工業、ギャレックス、アシックスアパレル工業、新珠食品、酒井化学工業、社会福祉法人光道園、福井ミナセル、福井トヨタ自動車、福井県民生活協同組合、ヤマト運輸、鯖江丹生消防組合(消防士)などです。

(三月二十三日現在)



# 祝おめでとうございます!

## Actual Results of Extracurricular Activities 部活動のおもな記録



- 【ホッケー部】
- ◆サマーチャレンジカップ 2020  
女子優勝
  - ◆全国高校選抜ホッケー競技  
女子3位 男子2回戦進出



- 【弓道部】
- ◆県民スポーツ祭(夏季特別大会)  
女子団体 優勝
  - ◆秋季高校弓道選手権大会  
男子個人 優勝
  - ◆冬季錬成大会弓道大会  
男子団体 優勝



- 【卓球部】
- ◆北信越高等学校選抜卓球大会  
女子シングルス競技 ベスト8



\*本校HPの情報をもとにももに県大会優勝以上の成績について、掲載しています。

- 【写真部】
- ◆フォトシティさがみはら 2020  
個人 ジュニア賞
  - ◆全日本鉄道写真コンテスト 2020  
個人 入賞
  - ◆「ソロ写真甲子園」SYAKOU SOLO 2020  
個人 奨励賞
  - ◆第27回全国高等学校写真選手権大会/写真甲子園  
北陸ブロック 優勝
  - ◆第9回日韓中高生フォトコンテスト  
個人 入選
  - ◆世紀のタウインチを探せ 高校生アートコンペティション 2020  
個人 入賞



広報委員会

水田 敏郎	町谷 悦子
筧 真樹	小林 智子
堺 一弘	石田 達夫
宮川 敏充	高橋 功
浅川 秀一	橋本 陽一
月田 陽子	
藤井 小百合	(敬称略)

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大とともに明けたような年でした。この影響は4月以降も甚大で、入学式の規模縮小、インターネット上で授業動画などを駆使した遠隔授業の開始など、これまで誰も経験のない高校生活が始まりました。生徒たちはもちろん、先生方にも大きな活動の制限を強いた年となりました。

PTA活動も例外ではありませんでした。年度当初の計画に予定通り取り組むことが出来ず、本当に残念でした。来年度にも、少なからずこの影響は続くと言われていきます。

ところで、教育ほど遠隔(リモート)という言葉が似つかわしくない世界はないと思います。人格形成にとって重要な高校時代は、仲間たちとの切磋琢磨、支えあい、先生方による叱咤激励が後の人生の大きな糧となります。これまでは当たり前を受けていた様々な刺激が、そのまま抜け落ちてしまったかのような影響がないようにするためには、来年度以降の教育活動や家庭での働きかけが、これまで以上に重要になると思われまます。

令和3年度は、今年叶わなかったPTA活動が少しでも実現でき、本校PTAが生徒たちの育ちを支えることができる組織として、さらなる発展を遂げることを心から願っています。

## 編集後記

PTA 広報委員長

水田敏郎



丹生高校公式サイトにて様々な情報や活動を発信しています。www.nyu-h.ed.jp/

(PTAだよりも掲載しています。是非、ご覧ください。)

〒916-0147 福井県丹生郡越前町内郡41-18-1 TEL 0778-34-0027 FAX 0778-34-0405

